



まちの話題



11月18日[Sat]～26日[Sun]

第3回 納所かかし祭り



▲昔の農機具を使ったかかしなどが会場に並びました

第3回納所かかし祭り（主催：納所里づくり委員会）が納所フルーツの森公園（東多久町）で開催され、個性あふれる手作りのかかしがずらりと並びました。

納所地区をはじめとした東多久町の各地区、学校、技能実習生など計17の個人や団体が出品。コンテストを実施したほか、最終日にはイベントステージも催されるなど大いにぎわいました。

来場者は「かわいらしくて見ていて楽しいです」とじっくりと見学され、集落支援員の円城寺良人さんは「来年はもっと多くのかかしを展示し、地域を盛り上げていきたいです」と笑顔で話されました。



11月18日[Sat]

柴田健二さん パラ水泳日本選手権 2種目で金メダル！



▲柴田さん（右）と視覚障害のある泳者の競技や移動をサポートする山内昌代さん（左）

SAGAサンライズパークで開催された第40回パラ水泳日本選手権の自由形50mシニアと背泳ぎ50mシニアに柴田健二さん（東多久町）が出場され、両種目で優勝されました。

29歳の頃から佐賀県立盲学校に通い始め、水泳の授業をきっかけにパラ水泳競技を開始。これまでも日本選手権をはじめ、数々の大会で優秀な成績を収められています。

横尾俊彦市長へ報告に来られた柴田さんは「練習で45・46秒だった自由形では今年のベスト39秒67で優勝できたことに驚いています。来年開催される佐賀国スポへの出場を目標に練習を頑張ります」と力強く話されました。

11月27日[Mon]

全国・九州中学校駅伝大会 壮行会



▲全国大会に挑む駅伝チームを横尾俊彦市長らが激励しました

男子第60回・女子第36回佐賀県中学校駅伝大会で、東原厩舎中央校の駅伝チームが男女ともに優勝の快挙を遂げ、市役所で全国・九州中学校駅伝大会へ向けた壮行会を行いました。

男子チーム主将の岸川壮さんは「みんなに勇気を与えられるような走りをし、20位台をめざします」、女子チーム主将の徳永結芽さんは「今年は8位入賞できるよう仲間を信じて走ります」と、それぞれ意気込みを語りました。

迎えた12月17日の全国中学校駅伝大会では、女子は11位、男子は23位と力走。これからの活躍にも期待が膨らみます。

